

株式会社ネクストセット

**ネクストセット・メールソリューション
for Active! vault SS/Active! Gate SS**



株式会社ネクストセット

メールアーカイブ for Active! vault SS

本章では、Active! vault SSについてご説明をします。



Microsoft 365(Exchange Online) の標準機能とよくあるお悩み

メールアーカイブ

- 上位プランや指定プラン、別ライセンスの購入*でのみ利用可能
外部のメールアーカイブサービスでは、社員同士のメールアーカイブができない。

運用開始後…

- 契約プランにメールアーカイブ機能がない
- 社内メールを外部サービスでアーカイブしたい
- メールアーカイブデータを長期間保持しておきたい
- コストを抑えたい…

Microsoft 365 の標準機能とよくあるお悩み

そのお悩み…解決します！

Active! vaultSS

- 契約プランにメールアーカイブ機能がない
- 社内メールを外部サービスでアーカイブしたい
- メールアーカイブデータを長期間保持しておきたい
- コストを抑えたい…

Active! vault SSとは？

- Active! vault SSとは、日本のメールソリューション専門企業のクオリティアが提供するクラウド型メールアーカイブサービスです。
- メールシステムの豊富な導入実績（累計2,000法人、1,100万アカウント以上）をベースに、J-SOX法やコンプライアンス整備など国内のお客様のメール情報管理向けに特化して開発
- オンプレミスで実績のあるActive! vaultをクラウド型で提供することにより「期間を選べる」「すぐに使える」「高品質なのに低価格」を実現
- Active! vault SSは以下のサービスを提供
 - 1. 送受信メールのアーカイブサービス
 - 2. 検索ユーザーによるメールの検索とWebブラウザからの復元
 - 3. 記録媒体によるデータのメディア(BD)送付サービス



メールアーカイブ for Active! vault SS システム構成

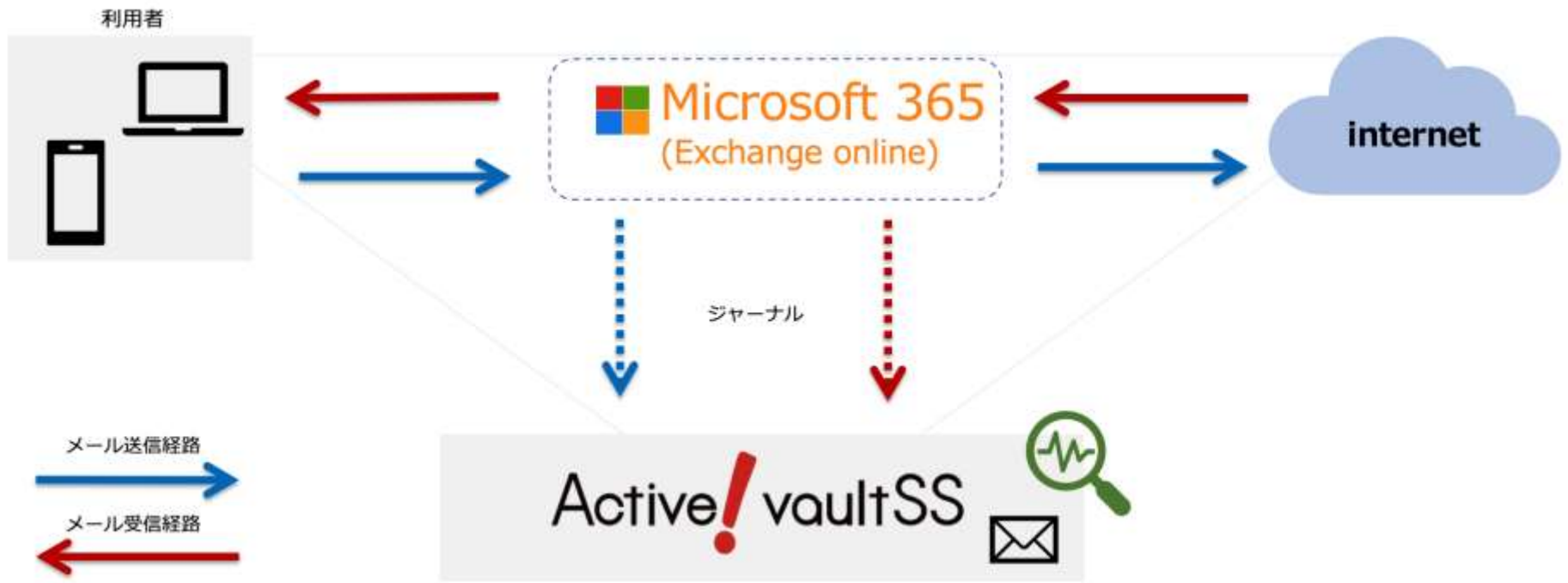
本章では、Active! vault SSのシステム構成についてご説明をします。



Active! vault SS+Microsoft 365 連携の場合

【設定方法】

Microsoft 365のジャーナル機能に送付先を追加
配送経路に入りませんので、送受信障害は発生しません



メールアーカイブ for Active! vault SS 基本機能のご紹介

本章では、Active! vault SSの基本機能についてご説明をします。



Active! vault SS の5つの特徴



Microsoft 365(Exchange Online)との連携



リアルタイムのメールアーカイブ・検索が可能



日本語による検索、管理インターフェースの提供



記録媒体によるデータのメディア送付サービス*

*指定プランのみ



1年/3年/5年から選べるアーカイブ保存期間(容量無制限)

セキュア：アクセスコントロールと操作履歴機能

<アクセスコントロール>

- アーカイブしたメールの検索ができる検索ユーザーを3人まで作成することができます。
- 検索ユーザーごとにIPアドレス、検索対象ドメインやアドレス、期間・曜日・時間帯などのアクセスコントロールを設定できます。

<操作履歴機能>

- システム管理者は、すべてのユーザーのActive! vault SSへのログイン履歴・システム操作履歴・検索履歴を参照することができます。



安心：検索ユーザーの分離で気密データを保護

＜検索ユーザーの分離＞

- ビジネスで送受信されるメールの中には重要な機密データが含まれていることも少なくありません。Active! vault SSは前述のアクセスコントロールに加え、アーカイブ管理者と検索ユーザーを分離することで機密データを保護します。
- アーカイブ管理者でも検索権限がないとメールを検索・参照することができません。
- 検索ユーザーも与えられた権限内での検索・参照しかできませんので、セキュリティだけでなく個人のプライバシーも守ります。



与えられた権限内で
検索・参照

确实：日本語対応で保存メールを确实に検索

<保存メールの検索>

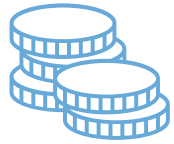
- 検索ユーザーは与えられた権限内でメールを検索・参照することができます。
- 検索画面の検索結果一覧からメールの「件名」部分をクリックすることで、当該メールの詳細情報を表示させることができます。
- メールの詳細情報画面では、メールが改ざんされていないことを表示します。

<高度な検索>

- 高度な検索画面では、受信期間、送受信メールアドレス、件名、本文内容/添付ファイル内容、添付ファイル有無、添付ファイル名、Message ID、ポリシーなどで細かく条件設定をしてメールを検索することが可能です。
- 保存した検索結果をダウンロードすることもできます。



低コスト：ローコストメールアーカイブを実現



<データのメディア送付サービス>

- **Active! vault SS**をご契約のお客様には、次年度以降からメールデータを BD メディアで送付いたします。
- 毎月送付されてくるメディアを活用すれば、「ローコストで5～10年の長期間のメールデータを保存したい」という要件もクリアできます。



メールアーカイブデータ送付スケジュール

<データのメディア送付サービス>

Active! vault SS 1年アーカイブをご契約いただいた場合



2年目以降



Exchange Online Archiving との主要機能・サービス比較

		Exchange Online Archiving	Active! vault SS
アーカイブ仕様	アーカイブ対象メール	送受信メール (社内・社外のすべて)	送受信メール (社内・社外のすべて)
	一部ユーザーのみの アーカイブデータ取得	ライセンス割当て対応可	×
	一般利用者からの参照	個人アーカイブ領域へのアクセス	×
	保存年数	永年	1年,3年,5年
	保存期間経過後の保管方法	-	Blu-rayへの保管・配送 *1年保存のみ付帯 3年/5年は対象外
	保存容量上限	無制限	無制限
検索	送信者や宛先、キーワード（テキスト）検索、期間指定等	○	*メールアドレス/キーワード/件名/本文内容・添付ファイル内容/添付ファイル有無/添付ファイル個数/添付ファイル名・拡張子/Message-ID
	異なる検索条件の&,or設定	○	○

2020年6月現在

Exchange Online Archiving との主要機能・サービス比較

		Exchange Online Archiving	Active! vault SS
権限設定	システム管理/検索権限の分割	×	○
	アクセス元グローバルIPアドレス制限	△ (ADFSのポリシーに準拠)	○
	検索権限への参照制限	×	検索対象： <ul style="list-style-type: none"> ・すべてのメールを対象とする ・指定ドメインor指定メールアドレスが含まれているもののみ ログイン制御： <ul style="list-style-type: none"> ・指定GIPからのアクセス時のみにログインを許可する ログイン可能時間帯： <ul style="list-style-type: none"> ・期間,曜日,時間
	検索ログ、操作ログの取得	×	*ログイン履歴/システム操作履歴/検索履歴(いずれもCSVエクスポート)

2020年6月現在

メールアーカイブ for Active! vault SS FAQ (よくある質問)

本章では、Active! vault SSのFAQ (よくある質問) についてご説明をします。



FAQ（よくある質問）

ご質問	回答
どれくらいの間、保存できますか？	保存期間は、1年、3年、5年よりご選択いただけます。
アーカイブの実現方法を教えてください。	ジャーナルレポート機能を利用し、送受信メールのコピーを取得するイメージとなります。
添付ファイルもアーカイブされますか？	はい、アーカイブされます。
アーカイブ容量に上限はありますか？	上限はなく、無制限になります。
一部アカウントのみで利用することは可能ですか？	申し訳ございません。 Microsoft 365(Exchange Online)の契約アカウント数と同数でのご契約が必要となります。
退職者用のライセンス契約は必要ですか？	不要です。

FAQ（よくある質問）

ご質問	回答
Microsoft 365のアカウントを削除した時、Active! vault SSのメールアーカイブデータも削除されますか？	いいえ、削除されません。保存期間内であれば、いつでもご覧になれます。
Microsoft365へ、アカウントを追加した時、Active! vault SSにもユーザ登録が必要ですか？	不要です。Microsoft365へ、アカウントを追加した時点で、ジャーナルレポートの配信も自動的に開始される為です。
アーカイブ対象のドメインが増加しました。ドメイン登録に費用は発生しますか？	無償です。 ドメイン追加は、弊社での作業が必要になりますので、事前に必ずご連絡をお願いします。

メールアーカイブ for Active! vault SS 料金について

本章では、Active! vault SSの料金についてご説明をします。



Active! vault SS の料金について

プラン	初期費用	価格(ユーザ/月)	メディア送付
1年保存	¥100,000	¥200	○
3年保存	¥100,000	¥400	×
5年保存	¥100,000	¥500	×

- *30メールアドレスから
- *追加10メールアドレス単位
- *Microsoft 365(Exchange Online)の契約アカウント数と同数のお申し込みが必要となります。
- *BDメディア送付サービスは、1年保存プランのみに付帯します。



メール誤送信防止 for Active! gate SS

本章では、Active! gate SSについてご説明をします。



Microsoft 365(Exchange Online) の標準機能

メール誤送信対策

- **メールヒント**

外部宛を宛先に指定すると警告が表示される

- **承認機能**

- **送信拒否**

- **受信者追加 (To, Cc, Bccに自動追加)**

条件に合致したメールは送信させないというポリシーの標準機能。

Outlook, Outlook Web Appでは配信遅延時間を設定することができる。

送信メールのセキュリティ強化対策

- **電子メールの暗号化**

送信メールそのものを暗号化し、送信することができる

送受信可能なメールサイズ

- **最大150MB(Outlook クライアント利用時/OWA:35MB)**

Microsoft 365(Exchange Online) の標準機能に対するお悩み

メール誤送信対策

- メールヒント

- ▶外部宛を宛先に指定すると警告が表示される。が、見過ごす。
- ▶コマンドによる設定変更が必要



Microsoft 365(Exchange Online) の標準機能に対するお悩み

メール誤送信対策

- 承認機能
- 送信拒否
- 受信者追加 (To, Cc, Bccに自動追加)

条件に合致したメールは送信させないというポリシーの標準機能。

Outlook, Outlook Web Appでは配信遅延時間を設定することができる。

▶設定がわかりづらい、細かい条件設定ができない



Microsoft 365 の標準機能に対するお悩み

送信メールのセキュリティ強化対策

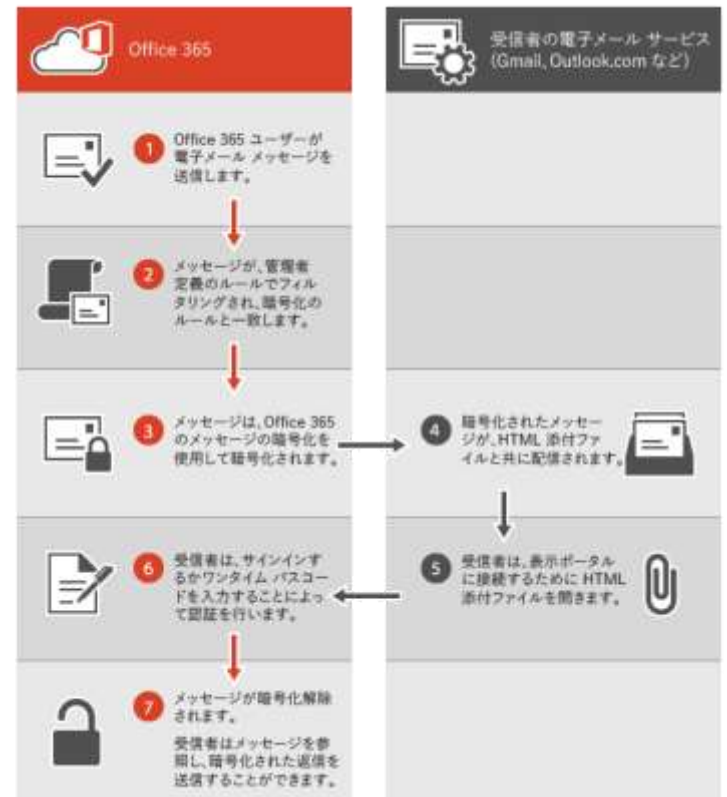
電子メールの暗号化

送信メールそのものを暗号化し、送信することができる

- ▶HTMLでメール送信をすることとなる為、受信者への負担が大きい
- ▶そもそも、暗号化は添付ファイルのみで良い。

(フロー)

- 1,メール送信
- 2,送信メールそのものを暗号化し、HTMLで送付
- 3,受信者はHTMLより、ログインをしメールを参照する

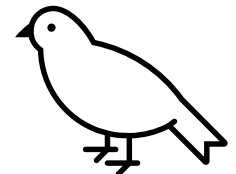


【参考】 <https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/dn569286.aspx>

Microsoft 365 の標準機能とよくあるお悩み

送受信可能なメールサイズ

- **最大150MB(Outlook クライアント利用時/OWA:35MB)**
 - ▶直近での仕様変更により、大容量ファイル送信が可能に！になりましたがこのサイズを受信できるのは、Office365だけでは？
つまり、大きすぎて送れない。ということ



Microsoft 365 の標準機能とよくあるお悩み

メール誤送信対策

- 承認機能
- 送信拒否
- 受信者追加 (To, Cc, Bccに自動追加)

条件に合致したメールは送信させないというポリシーの標準機能。
Outlook, Outlook Web Appでは配信遅延時間を設定することができる。

運用開始後…

- 配送遅延時間の設定を細かく行いたい。
- 25MBまでファイルを送信できるが、受信できない取引先がでてきた。
- ユーザ側に負担をかけず、セキュアにファイルを送信したい。
- 個人情報を含むデータをメールで送信させたくない。
- 重要なメールは必ず、上司が確認するようにさせたい。

Microsoft 365 の標準機能とよくあるお悩み

そのお悩み…解決します！

Active!gateSS

- ✓ 配送遅延時間の設定を細かく行いたい。
- ✓ 25MBまでファイルを送信できるが、受信できない取引先がでてきた。
- ✓ ユーザ側に負担をかけず、セキュアにファイルを送信したい。
- ✓ 個人情報を含むデータをメールで送信させたくない。
- ✓ 重要なメールは必ず、上司が確認するようにさせたい。

メールのセキュリティカバレッジ

	EOPlan1	EOPlan2/E1/E3/E5	Active! gate SS
送信メールの一時保留	-	-	○
添付ファイルの暗号化	-	-	○
添付ファイルのWebダウンロード	-	-	○
Bcc強制変換	-	-	○
送信拒否	○	○	○
時間差配信	-	-	○
上司承認	○	○	◎
メールアーカイブ	-	○	△*1

※*1 メールアーカイブサービスActive! vault SSにて対応可能。

Active! gate SS のシステム構成

【設定方法】

Microsoft 365の送信コネクタに接続先を追加

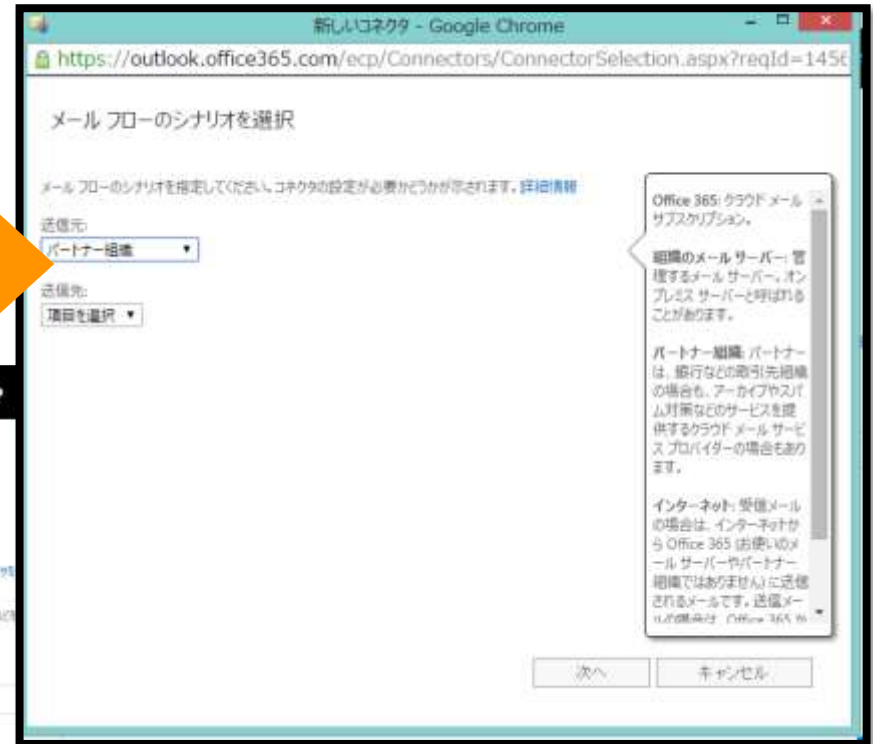
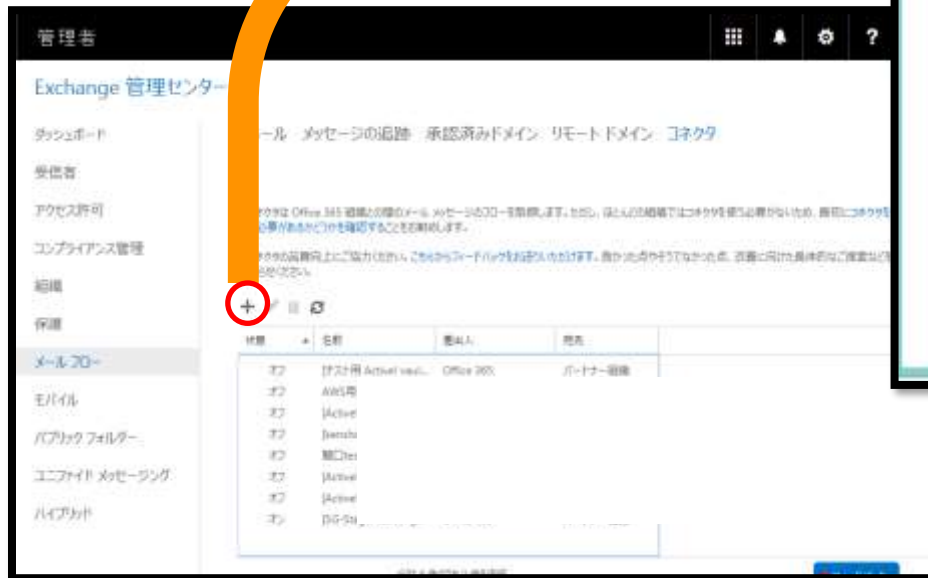


Active! gate SS+Microsoft 365 連携の場合

【設定方法】

Microsoft 365の送信コネクタに接続先を追加

Microsoft 365
(Exchange Online)



メール誤送信防止 for Active! gate SS 基本機能のご紹介

本章では、Active! gate SSの基本機能についてご説明をします。



Active! gate SS 基本機能のご紹介

メール・添付ファイル経由の情報漏えいを防止する
7つのアプローチ

1. 送信メールの一時保留
2. 時間差配信
3. 添付ファイル暗号化
4. 添付ファイルのwebダウンロード
5. Bcc強制変換
6. 送信拒否
7. 上司承認



Active! gate SS 基本機能のご紹介



送信メールの一時保留

メールを一定時間隔離・保留します。保留されたメールは送信者が内容を確認後に送信／キャンセルの処理ができます。保留期間は5分～7日間で自由に設定可能です。



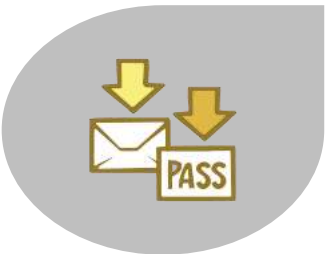
時間差配信

社外メールが保留されている間に、社内へメールを先に送ることで、送信者が気づかなかった「うっかりミス」を阻止できます。



添付ファイルの暗号化(Zip,AES,7-zipなど)

ファイルを添付してメールを送信するだけで、添付ファイルをパスワード付き暗号化ファイルに自動変換。メールが送信された後、別メールにてパスワードやヒントを自動で通知します。



添付ファイルのWebダウンロード

添付ファイルをメール本文と分離し、Webダウンロードに自動切り替え。サイズの設定も可能でメールが送信された後、別メールにてパスワードやヒントを自動で通知します。

Active! gate SS 基本機能のご紹介



メールヘッダの変換（Cc/Bcc強制付与・Bcc強制変換）

ToやCcに一定個数以上のアドレスがある場合にBccに自動変換します。

Bcc変換のしきい値（件数）、Bcc変換後のToアドレスなどは自由に設定が可能です。



送信拒否

時間帯や送信者など管理者が設定した条件でメールの送信自体を拒否します。メールが送信拒否された場合は、その旨を通知するバウンスメールを送ることが可能です。



上司承認

上司など承認者の許可を得たメールのみ送信することができる機能です。

一般的な離席長期出張など承認者の状況に応じて、代わりに承認する代理者を柔軟に設定できる機能を標準実装しています。

PPAP問題もActive! gate SSで解決



添付ファイルのWebダウンロード

添付ファイルをメール本文と分離し、Webダウンロードに自動切り替え。サイズ等の条件設定も可能で、メールが送信された後、別メールにてパスワードやヒントを自動で通知します。

★URLリンクでの送付となる為、受信者にメールシステムの受信上限に抵触しません。Outlookクライアント/OWAの送信上限までちゃんと送れるようになります。

★万が一、、、

誤送信しても、該当ファイルの削除や、DL一時停止措置を実施することができます。

★local(Excelなど)で個別にパスワードを付与したファイルであっても、この機能と併用ができます。

メール誤送信防止 for Active! gate SS 料金について

本章では、Active! gate SSの料金についてご説明をします。



Active! gate SS の料金について

プラン	初期費用	価格(ユーザ/月)
オリジナル運用プラン (共用タイプ)	¥50,000	¥300

- *10u~490uまで/追加10メールアドレス単位
- *シングルドメイン限定プラン(エイリアスドメイン利用時には提供不可)
- *共用サーバ

プラン	初期費用	価格(ユーザ/月)
オリジナル運用プラン (VPSタイプ)	¥100,000	¥500

- *30u~無制限/追加10メールアドレス単位
- *マルチドメイン対応プラン
- *仮想専用サーバ
- *DKIM署名機能対応

Active! vault SS/Active! gate SS SLA・データセンター

本章では、ActiveシリーズのSLA及びデータセンターについてご説明をします。



SLA・データセンターについて

■稼働拠点 国内

※詳細についてはセキュリティ上、非開示

■耐震構造

- 強固な岩盤上に立地する等ロケーションも吟味。
新耐震設計法に準拠することを耐震診断にて確認済。

■セキュリティ

- 非接触型IDカード認証。
- ハンドスキャナーや超音波センサーによる入退出管理（セキュリティポータル）。
- 24時間常駐の警備員を配置。
- 屋外及び屋内監視カメラによる不正侵入監視、ログ蓄積。



■防火システム

- 消火設備、自動火災報知器、超高感度煙センサー（VESDA（※））を設置。
⇒消火システムにはハロン系ガスを使用。

（※）・・・VESDA：監視エリアの空気を多数のサンプリング孔から常時吸引し、エリア全体の環境空気を光学的に監視するシステム。センサーは、通常的环境変化を正確に捉える超高感度レベルで監視するため、焼損事故の可能性のある異常をいち早く検知、対処することが能。

■空調システム

- 完全冗長構成

SLA・データセンターについて

■ 環境条件

- 相対湿度：45%～65%
- 設定温度：22℃～24℃

■ 床構造

- パネル寸法：500mm×500mm（フリーアクセス）
- 床荷重：800Kg/m²

■ 監視システム

- 24時間365日有人監視

■ 保守対応

- 一次保守
- 二次保守

(許認可)

ISO/IEC 27001(情報セキュリティマネジメントシステム)

ISO/IEC 27017(ISMSクラウドセキュリティ認証)

ISO/IEC 27018(パブリッククラウド上の個人情報保護)

※株式会社クオリティア 情報セキュリティ基本方針

<http://www.qualitia.co.jp/isms.html>

※株式会社クオリティア 個人情報保護ポリシー

<http://www.qualitia.co.jp/privacy.html>

※許認可・資格

電気通信事業 届出番号A-22-11059
日本語ドメイン取り扱い事業者



ネクストセット・サポート窓口について

本章では、ネクストセット・サポート窓口についてご説明をします。



サポート窓口

ネクストセットのアドオンサポートについては
プロダクト開発元でありますサテライトオフィス社で行います。



アドオン サポート窓口

お問い合わせ

株式会社サテライトオフィス@サポート窓口

お問い合わせ受付けWEBフォーム

<https://sateraito-apps-support.appspot.com/entry>

サポート窓口電話：050-5835-0396（弊社営業日10：00～17：30）

サポート窓口FAX：050-6861-2893

サポート窓口メール：sateraito-support@sateraito.co.jp

サポート窓口メール（重大障害24時間メールにて受付）：

sateraito-support24@sateraito.co.jp

サポート窓口メール（英語）

sateraito-support-eigo@sateraito.co.jp

NextSet ~ for your best solution

A large, stylized blue logo for NextSet. The 'N' is very large and bold, with the word 'NextSet' in a blue sans-serif font to its right. Above the 'NextSet' text is the Japanese text 'ネクストセット'.

株式会社ネクストセット
〒135-0016
東京都江東区東陽4-3-1 東陽町信栄ビル4F
TEL : 050-5835-1092
E-Mail : contact-info@nextset.co.jp